

静岡医療科学専門大学 学校運営評価表

学科名： _____

内容	番号	評価項目	評価尺度					評価の視点
			よい [5]	ややよい [4]	普通 [3]	やや不十分 [2]	不十分 [1]	
「Ⅰ」学校経営	1	学校のビジョンおよびそれを実現するための組織目標を策定しており、かつ、その目標が教職員に理解されているか						◇：[3] 普通レベル(例示) ◆：[4][5] 加点レベル(例示)
	2	組織目標に対する評価を実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか						◇組織目標を単年度で評価している ◇評価結果から次年度の課題を明確にしている ◇評価結果を教職員に周知している ◆中間評価を実施し、その結果を後期に活かしている
	3	学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、外部にも公表しているか また、評価結果をもとに改善計画を策定しているか						◇運営評価結果を教職員に周知している ◇運営評価結果をもとに改善計画を策定している ◇運営評価結果をホームページ等を通じて公表している ◆中間評価との関連で改善計画を見直している
	4	管理職のリーダーシップのもと、各係長がそれぞれの部署をまとめチーム力を発揮し問題解決に当たっているか						◇係長会や教務会など学校運営上の重要事項の検討および共通認識の場として機能している ◇人材を適材適所に配置する工夫を行っている ◆各係内だけでなく全職員間で連携やコミュニケーションをとる機会を設けて機能している(定期的な全体会等)

内容	番号	評価項目	評価尺度					評価の視点
			よい [5]	やや よい [4]	普通 [3]	やや 不十分 [2]	不十分 [1]	
〔Ⅱ〕 教育課程・ 教育活動	5	卒業時においてもつべき専門士の資質を教育目標に明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇専門士として身につけておくべき資質が、知識・技術・態度の側面から明文化されている ◇教育目標を学生に説明する機会を設けている ◇教育目標の到達状況を教員間で確認する機会がある ◆教育目標に照らし、卒業時の到達度を評価している
	6	学習内容は、教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容になっているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇教員全員で教育課程を検討する場を設けている ◇理念・目的・目標と一貫性のある内容となっている ◇社会情勢にあわせて内容を含んでいる ◇教育課程評価を行い結果を次年度に反映させている ◆学校の独自性が盛り込まれている ◆時代の要請に応じて、必要時 修正している
	7	授業計画が作成され、教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇内容が具体的である。 ◇シラバスに示された内容を実施している ◇1単位(30時間)につき、担当者を3人までに行っている(専門基礎分野を除く) ◆前年度の評価結果(前年度カテゴリ総括、授業評価アンケート等を参考)を参考に、担当で授業(講義・演習・臨地(臨床)実習)案を検討している ◆実施結果や学生の反応を踏まえて見直しを行っている ◆定期的に担当者間(外部講師を含む)の調整をしている
	8	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇時間割作成時に授業担当教員と調整をしている ◇時間割は学生の状況に合わせて作成している ◇学習の順序性を考慮した時間割となっている ◇学生への時間割発表は1ヶ月以上前に行っている ◆学生への時間割発表は3ヶ月以上前に行っている
	9	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇カテゴリで授業案を検討している ◇カテゴリで実習指導案を検討している ◆学校やカテゴリとして授業評価の結果を分析し、授業内容や指導方法に反映させている ◆全教員が2回以上の授業公開を参観している
	10	学生の単位取得に向けた支援を実施しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇教員は、初回授業で科目目標・評価目標等を、学生に説明している ◇教員は、未修了科目の分析をしている ◇実習において教員は学生に未修了の理由を説明している ◇教員は、学生が未修了になった理由を自己分析するよう指導している ◆教員は、学生の自己分析結果に基づき、対応策を学生と検討し、指導している ◆成績不振者を対象として、定期的な学習会等を実施している
	11	実習目標が達成されるよう、実習環境が整備されているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇実習先にCFルームや、学生が記録や学習をする場所が整備されている ◇学生の学習を促進するための図書等が実習施設に整備されている ◇学生が実習中は、指導者が毎日勤務し、学生指導・教員との連絡調整・カンファレンスへ参加している ◆実習指導者が固定(1週間程度)した病棟(部署)を選択している ◆同じ診療科の実習場所に重複して行かないよう、実習病院が確保されている ◆教員の専門性が活かされた体制になっている
	12	実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協力し実習指導にあたる体制があるか						<ul style="list-style-type: none"> ◇定期的に指導者会議を開催している ◇実習指導者と教員との事前打ち合わせ、事後反省会を行っている ◇学生の日々の学習内容や指導方法について、教員と指導者で常に意見交換している ◆より質の高い実習指導体制を整えるために、指導者と教員が参加する学習会等が企画されている ◆実習指導者・教員の役割を明文化したマニュアル等がある ◆各実習科目毎に指導要項を作成して、実習施設にも配布し活用している
	13	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価について公平性・妥当性が保たれているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇評価基準を書面で提示している ◇評価方法及び評価結果を学生に説明している ◇模範解答が一定期間掲示されている ◆カテゴリで試験問題が検討されている ◆演習や実習の評価を複数で行うよう努力している ◆演習・実習について公平・妥当な評価を目指し、基準の見直しを毎年行っている
	14	実習時の患者への倫理的配慮を励行しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成している ◇受け持ち患者に説明し、事前に同意を得ている ◇患者への倫理的配慮について指導を行い、学生は倫理に基づいた言動を心がけている ◇倫理的な事柄に関連した患者からの、苦情申し立てがない ◆学生が受け持つことについて、患者(家族)から文書による同意を得ている
	15	実習のインシデント・アクシデント等を分析し、学生指導に生かしているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇インシデント等発生時のマニュアルを作成している ◇実習前後に安全教育を実施している ◇インシデント等の情報が速やかに報告され、教員間・学生間で共有している ◆学生に関係したインシデントについて、分析し再発防止に取り組んでいる ◆教員・指導者・学生が協働して事故予防策を検討している ◆実習科目ごとに安全カンファレンスを実施している
	16	学生による授業評価および教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇専任教員は、全員が授業評価を実施している ◇専任教員は、全員が自己評価を実施している ◇非常勤講師に対して協力を依頼し、授業評価を実施している ◇学生及び実習施設に結果を伝えるシステムがある ◆評価結果について、学生と意見交換をしている ◆各カテゴリで評価結果を共有し、次年度に向けた改善計画を明文化している

内容	番号	評価項目	評価尺度					評価の視点
			よい	ややよい	普通	やや不十分	不十分	
			[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	◇ : [3] 普通レベル(例示) ◆ : [4][5] 加点レベル(例示)
「Ⅲ」入学・卒業対策	17	より多くの応募者を確保することに努めているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇学生説明会は参加者の利便性(曜日・時間)を考慮して開催している ◇各高等学校等に出向き、学校案内を行っている ◇指定校推薦校に出向き、学校案内を行っている ◆学内に「学生確保プロジェクトチーム」等を設置し、前年度結果を分析し、計画的な確保対策を実施している ◆入学者の出身校等に学生生活の様子を報告している
	18	国試の合格率が100%となるよう、教員一丸となって取り組んでいるか						<ul style="list-style-type: none"> ◇各学年に対する指導方針が明確である ◇国試対策委員会を作っている ◇前年度不合格者に対して、指導・情報提供を行っている ◇国試の合格率が全国平均を上回っている ◆国試の合格率が100%である ◆学校独自の工夫をしている
	19	質の高い卒業生を多く輩出するための努力を行っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇個別面接による、きめ細かい指導を行っている ◇必要に応じ、学生とその保護者との三者面談を行っている ◆課外時間を活用した技術指導時間を確保している ◆今年度の退学者が全学生の2%以下である
	20	卒業生への支援を行っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇卒業後にホームカミングデイを実施している ◇卒業生へ、就業継続への支援事業を行っている ◇卒業生も図書館を利用することが可能である ◆既卒者、中途退職者に対し、就職相談にのるシステムがある
	21	卒業生の県内就職率を高めるよう努めているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇入学時から県内への就職に向けてガイダンスを行っている ◇社会人入試および推薦入試入学生の県内就職率が95%程度である ◇就職者に占める県内就職率が85%である ◇進路指導において、県内病院等の募集情報を収集し、学生に提供している ◆就職者に占める県内就職率が95%程度である
「Ⅳ」学生への支援	22	進学・就職などの進路に関して、学生の相談に十分応じているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇進学・就職に関して相談に応じるとともに、情報を提供している ◇進学・就職のための面接・論文指導を行っている ◇就職説明会を実施し、就職先選択の支援を積極的に行っている ◇就職ガイダンスを活用している ◆卒業生を学校に招き、先輩との就職懇談会を実施するなど、直接職場の様子を開ける場を設けている ◆卒業生の来校時等に、就職先の情報を収集し、適宜、在校生に情報提供している
	23	経済的・精神的側面からの学業継続支援体制が整い、効果的に活用しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇奨学金・授業料免除など、経済的支援の相談に応じるとともに、情報を提供している ◇カウンセラーの存在・役割を学生に周知している ◇必要に応じ、学生の同意のもと、カウンセラーと連携をとっている ◇カウンセリングが必要と思われる学生に、教職員からカウンセリングを勧めている ◆カウンセリングを受けていることのプライバシーが守られている ◆専用のカウンセリングルームを設けている
	24	学生の身体的側面の健康確保に努めているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇健康診断の指導・相談がなされている ◇適宜、校医と情報交換している ◇敷地内は完全禁煙になっているとともに、禁煙教育を行っている ◇インフルエンザなどの感染予防対策について、周知啓発している ◇相談員等は、必要時、慢性疾患等のある学生の情報を得て指導している ◆校医による健康相談日を設定している ◆保健室は男女別に設けられている(2つ以上ある)
	25	サークル活動などの学生の自主的な活動を支援しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇学生のサークル活動など、自主的な活動の支援体制が整っている ◇サークル活動など、自主的な活動を行うための場所や物品を整備している ◇サークル活動の登録制などで、学校として自主活動を把握している ◆サークル活動の発表や他校との交流の場を設けることを支援している

内容	番号	評価項目	評価尺度					評価の視点
			よい	ややよい	普通	やや不十分	不十分	
			[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	
〔V〕 管理運営・財政	26	行動計画・年間行事計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇年間計画に基づき、計画的に予算・事業執行を行っている ◇計画的に設備備品の充実などを行っている ◇授業料等の滞納がほとんどない ◆組織的に経費の節減対策を行っている
	27	<p>学生や教職員等の人権・個人情報の保護について十分な対策がなされているか</p> <p>また、学生・教職員に対しそれらの徹底を図っているか</p>						<ul style="list-style-type: none"> ◇学校が保有する個人情報を周知するとともに、個人情報保護宣言を行っている ◇学生の実習記録の管理についてルール化してある ◇個人情報は「福祉保健局における情報資産の取り扱いに関する安全管理装置」に従って管理されている ◇機密性Aの情報資産を校外に持ち出していない ◇教職員対象に人権・個人情報保護に関わる職員研修を行っている ◆倫理委員会を設置し、個人情報の保護や倫理的配慮が必要な問題について検討を行っている ◆パワーハラスメント対策等、学校独自の取り組みをしている
	28	<p>災害など非常時の危機管理体制が整備されているか</p> <p>また、防犯・交通安全意識の向上に努めているか</p>						<ul style="list-style-type: none"> ◇危機管理マニュアルを作成し、随時見直しをしている ◇総合防災訓練を年1回実施している ◇不審者の侵入に対し、監視体制が整備されている ◇教職員の緊急連絡網をもとに、連絡訓練を年1回行っている ◆学生用災害時の食糧・飲料水を3日分備蓄している ◆防災・交通安全講習会などを開催し、学生に受講させている ◆簡易トイレ・寝具を備蓄している
	29	学校運営に学生の意見が反映されているように努めているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇学生の意見や要望を聞く場を設けたり、意見箱を設置している ◇意見要望について学内の会議で対応策を検討している ◇意見要望への回答を、必要に応じて公開している ◆意見や要望に基づいた改善を行っている
〔VI〕 施設整備	30	施設・設備の安心・安全が確保されているとともに、障害者の利用に配慮された構造になっているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇耐震基準をクリアしている ◇車椅子での利用可能なトイレ・スロープを設置している ◇校舎にエレベーターを設置している ◆構造上変更できない部分を他の方法で補う努力をしている
	31	<p>教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか</p> <p>また、学生の自主的な学習の場が確保されているか</p>						<ul style="list-style-type: none"> ◇教育目標の達成に必要な適切な教材が整っており、活用されている ◇PCは授業時一人1台使用ができるよう整備している ◇学生の自主的な学習のために、教材や施設・設備を活用させている ◆インターネット検索のできる学生用PCが3台以上ある
	32	学生のための福利厚生施設・設備は整っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇学生が自由に使用できるホールがある ◇サークル活動などができる場所がある ◇学生用の施設は、時間外も使用できる ◆可能な範囲で長期休業日にも利用可能となっている
	33	図書室は利用しやすく学生に十分活用されているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇図書室の利用促進のための情報提供など必要な措置を講じている ◇蔵書・雑誌について、定期的に廃業等整理を行っている ◇長期休業中の利用・時間外利用を認めるなど、図書サークルの向上に努めている ◇計画的に新刊書を購入し、学生へ最新の知識・情報の提供に努めている ◆レファレンスサービスを行っている ◆定期的に図書室だよりなどを発行している ◆蔵書が1万冊以上ある
34	実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品設備が整い、十分にその機能を果たしているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇学生数に応じたスペースが確保されている ◇養成所の指定規則に定められた備品・設備が整備されている ◇備品・設備の点検を定期的に行っている ◇学生が備品・設備を学習のために使うことができるためのシステムが確立している ◆特別な設備・備品(デモコーナー・移動リフトなど)が整備され、活用されている 	

内容	番号	評価項目	評価尺度					評価の視点
			よい [5]	やや よい [4]	普通 [3]	やや 不十分 [2]	不十分 [1]	
「Ⅶ」 教職員の 育成	35	学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇課題に沿った研修を計画している(内容・講師・日程・時間数など) ◇教員の90%以上が参加している ◇他行にも参加を呼びかけている ◆他校から参加者がいる
	36	学会または研修等に参加した成果を、ほかの教職員に還元する仕組みがあるか						<ul style="list-style-type: none"> ◇教員が参加しやすい日に伝達講習計画されている ◇公費学会参加者は全員が伝達講習を実施している ◇伝達講習の内容を組織的に教育に取り入れている ◆自費で学会参加した人も伝達講習をしている
	37	教員が計画的に臨床研究に参加できるよう支援しているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇短期臨床研修の参加は当該年度10%程度である ◇3年課程を目途に、各教員の臨床研修計画を立てている ◇当該年度、臨床研修への参加者希望者全員が研修に参加できている ◆長期臨床研修に参加できるように参加予定者の業務分担等が考慮されている ◆5年以上臨床から離れている教員は、全員臨床研修を修了している
	38	教員が計画的に研究調査活動行えるよう体制を整えているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇教員の80%程度が研究調査活動に参加している ◇研究調査日を活用しやすい環境がある ◇「授業研究」が行われる全カテゴリーに、各1名の参加者がいる ◆教員の90%以上が研究調査活動に参加している
	39	教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度がある						<ul style="list-style-type: none"> ◇学内授業の参加日を計画している ◇教員が授業研究に参加できるように計画している ◇教員の90%程度が授業公開をし、実施後の評価会を行っている ◆全教員が授業公開をし、事後後の評価会を行っている
	40	専門領域認定が受けられるような支援体制が整っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇専門領域認定のために臨床研修に参加できる仕組みがある ◇可能な範囲で専門領域に配慮したカテゴリ配置が行われている ◇専門領域認定者が50%程度である ◆専門領域認定者が60%以上である
「Ⅷ」 広報・ 地域活動	41	学校の存在を周知するため、ホームページ・携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇昨年の評価を生かした広報計画を年度当初に策定している ◇ホームページは受験生が求める情報を掲載している ◇ホームページは定期的(年6回程度)に更新している ◇ホームページは卒業生に必要な情報を掲載している ◆ホームページは年10回程度更新している ◆ホームページはトップ画面から必要項目に入りやすい作りになっている ◆広報活動の結果、説明会参加増、受験生増となっている
	42	地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか						<ul style="list-style-type: none"> ◇地域住民を対象にした公開講座を年1回実施している ◇地域のボランティア活動への参加を促している ◇学校祭等、学校行事に地域住民等が参加している ◆地域自治体等との連絡会等をもっている ◆学校として地域の団体等の行事に参加している ◆地域の小中高校の教育活動に参加している ◆リカレント教育として、実習病院や近隣看護教員等に授業を公開している